

## 災害廃棄物処理に係る訓練の実施について

〔令和2年11月19日〕  
循環型社会課

## 1 目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的として、初動対応の中でも特に重要となる仮置場の設置・運営に係る模擬訓練を、福山市の協力を得て開催する。

## 2 日時

令和2年11月20日（金） 10時30分～15時30分  
（小雨決行ですが、荒天の場合は中止します。）

## 3 訓練場所

福山市クリーンセンター（福山市箕沖町）

## 4 参加者（予定）

県、県内23市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、  
広島県清掃事業連合会）職員（約70名）



平成30年7月豪雨における一次仮置場

## 5 内容

## (1) ねらい

- 一次仮置場は、災害廃棄物を一時的に搬入・保管する場所であり、被災地から災害廃棄物を迅速に撤去するため、その設置・運営は初動対応の中でも、非常に重要である。（平成30年7月豪雨やその後の全国的な災害においても仮置場の設置が課題となっている。）
- このため、令和2年6月に、災害発生時に、各市町において速やかな一次仮置場の開設が可能となるよう、一次仮置場を設置し運営する手順を取りまとめた「一次仮置場の設置運営の手引き（以下「手引き」という）」を策定したところであり、このたび、手引きを活用した仮置場設置の模擬訓練を実施する。
- 訓練を通じて、必要な業務内容等について理解を深めるとともに、訓練で得られた課題等を踏まえ、今年度中を目途に、昨年5月に作成した「災害廃棄物処理に係る市町等初動マニュアル」の見直しを行い、来年の出水期における災害発生に備える。

## (2) 訓練内容

福山市クリーンセンターの敷地の一角を仮置場と見立て、作成した手引きの処理フローに沿って、仮置場で必要となる一連の業務を疑似体験する。

- ① 仮置場レイアウトの検討（廃棄物の配置、車両動線の検討等）
- ② 住民向け広報資料の作成
- ③ 仮置場の設置（看板の設置、車両動線の確保等）
- ④ 仮置場の運営（入口での受付、廃棄物の積み下ろし等）

※ 出水期前の5月に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期し、11月に実施する。

※ 研修内容も、屋外での訓練のみとし、座学研修はWeb会議形式で別途実施する。

(3) スケジュール

11月20日(金)	内容
10:30~10:50	実施方法の説明
10:50~12:00	仮置場レイアウト・住民広報資料の検討
12:00~13:00	休憩(昼食)
13:00~13:45	仮置場の設置
13:45~14:05	訓練の手順確認
14:05~15:05	模擬訓練
15:05~15:30	訓練の振り返り

(参考) 仮置場のレイアウト例

